

山形教区報

発行 天理教山形教務支庁 〒994-0027 天童市桜町 11 番 1 号
TEL 023-656-8420 FAX 023-656-8425
編集 広報部 E-mail y_kohobu@yahoo.co.jp

立教 181 年

9 月号

第 131 号

少年ひのきしん隊 本部練成会



今年のこともおちばがえりが、「ありがとう！ よろこびつなごう おやさとへ」をテーマに、7月26日から8月4日まで開催された。少年会山形教区団（中森芳郎団長）では、7月30日から8月6日までの日程で、少年ひのきしん隊本部練成会に参加。隊員9名、カウンセラー3名が尊い伏せ込みの汗を流した。

今年9名中5名が初めてひのきしん隊に参加する中学1年生で、慣れない団体生活で、初日から体調を崩す隊員も出たが、参加者が揃ってお願いづとめをつとめるなど、お互いがたすけ合い、支え合う姿が見られた。

期間中は、朝のおつとめ、お茶接待などのひのきしんに当たり、また、おてふりまなび教室などのおちばがえり行事に参加した。宿舎行事では恒例の行進コンテストや室内オリピックに参加し、持ち前の和気藹々とした雰囲気、楽しい一時を過ごした。

隊員達は、親神様、教祖のお膝元で伏せ込みながらおちばの夏を満喫し、人のために尽くす喜びを味わった。帰路の車中では、「少ひ隊に参加できて良かった」「また来年も参加したい」と口々に語り合い、来年の再会を誓い合っていた。

◎参加者の感想文◎

■ 最初は「めんどくさそうだな」と思っていたけど、やってみると「楽しい」「もっとやりたい」と思うようになりました。

お茶接待では山形弁で呼びかけたり、山形弁を使った歌を歌ったりして、とても楽しくて「ハマって」いる感じがしました。

パレードに出ると聞いて「無理!!」と思っていたら、すごく楽しかったです。

最初からマイナスに考えないで、楽しんでみようと思いました。また来年も再来年もおばに帰っているんなことをしたいです。

(中1女子)



■ 初めての体験がいっぱいでおもしろかったです。特にお茶接待がおもしろかったです。「お茶どうぞ!!」と言ってお茶を渡し、みんな喜んでもらえるのが良かったです。

たです。また行進コンテストはみんなの性格などが見られて良かったです。

鼓笛隊で抜けることがありましたが本当に楽しかったです。

(中1男子)

■ 初めて参加して少し不安がありました



が、みんな明るくて楽しかったです。お茶接待などの憧れだったひのきしんも大きな声を出してやれました。少し疲れたけど、たくさんの人達の「ありがとう

う」を聞いて、とてもやりがいを感じました。食堂のご飯はおいしくて、そう感じられるのも「ありがたいな」と改めて感じるようになりました。

パレード、室内オリピック、行進コンテストでは様々な教区の人達と交流出来ました。今までの「こどもおちばがえり」と違って大変なこともあったけど、それと共に喜びや気づくことがありました。このような体験が出来て良かったです。

(中1女子)

■ 今回、急に出させて頂くことに決まり、何も分からないまま参加しました。初日のスピード感や雰囲気慣れることが出来ず、パニックになり、気持ちを立て直すのに時間がかかり、隊員達を不安にさせてしまったのではと申し訳ない思いでした。が、子供達に支えられて最終日まで来られたこと





は本当にありがたく、子供達から「来てくれて良かった」と言ってもらえたことも本当にありがたいです。そして何よりも、おちばで過ごさせて頂いたこの期間は、かけが

えのない宝となりました。苦しくて泣き、嬉しくて泣き、子供達から多くのことを学び感動して泣きました。全教を挙げて後継者の育成が言われている今、育成の現場を経験させて頂いたことを今後活かしていけるように、自らも常に育つことを意識して、育成活動に関わらせて頂きます。

多くの方にお心を掛けて頂き通ることが出来たこと、本当にありがとうございます。

(女子カウンセラー)

■ 今回初めて参加して、いつもみんなで行動しているの、あまり話したことのない人も友達になり、宿舍の同部屋の他の教区の人やカウンセラーさんとも話すようになりまし

た。

一日目から救護室などで休んで疲れていたけれど、だんだん慣れてきたのか元気になりました。ひのきしんと思ったことは、まず忙しいと思いません。初めは分からなかったですが、カウンセラーさんの姿を見て、休んだりするところがあまりないと思いました。お茶接待では、お茶を飲んでる姿を見て「やりがいがあるな」と思いました。

行進コンテストは足や言葉を覚えなければならなかったので大変でしたが、本番ではうまく出来たと思います。楽しい少年ひのきしん隊でした。

(中1男子)



■ 今回初めて参加して、結構ハードだなと思いましたが、一番楽しかったのは、方言を使うお茶接待ひのきしんです。行進コンテストも印象に残りました。足を合わせたり、

大きな声を出すのが大変でしたが、『銀賞』を取れて良かったです。来年参加するかは未定ですが、参加できたら参加したいです。

(中1女子)



■ 今回サブカウンセラーとして2回目の参加でしたが、最後まで隊員を引っ張っていくことが出来たので良かったです。女子カウンセラーがギリギリまで私一人だったので、不安がありました。もう一人女子カウンセラーが来て下さることになり、とても安心しました。行進コンテストでは、期間中一緒にひのきしんをつとめた秋田教区隊員と協力し合い、本番ではとても感動しました。

今年の少年ひのきしん隊は、私自身にとつて成長出来た一週間だったと思います。

来年も新しい隊員が参加すると思います。生き生きとした山形教区で頑張りたいと思います。支えて下さった方々、本当にありがとうございます。来年も是非よろしくお願ひ致します。

(女子カウンセラー)

天理教道友社 東北ブロック 社友研修会



参加者全員で記念撮影

8月29日から30日の2日間、「はーとぽーと大内ぼぼろっこ」(秋田県由利本荘市)を会場に「道友社東北ブロック社友研修会」が開催され、ブロック管内から33名の社友らが参集。山形教区社友会(藤原隆宏代表社友)からは5名の社友が参加した。

当日は、秋田教区長・佐々木正明先生が歓迎の挨拶を述べ、続いて、道友社からご出向頂いた同社次長・安藤正治先生より、「文書布教の展開」と題してご講演頂いた。先生は、『天理時報』はお道の機関誌であり、おちば、本部の思いを真摯に、正確に流す役割を担うと共に、読み手のニーズを的確に捉え、購読意欲を沸き立たせるような紙面作りも求められると話された。また、出版事業全体を取り巻く環境として、紙媒体そのものが世の中に受け入れられ難くなっているとした上で、書籍の電子化、あるいは情報伝達手段のウェブへの移行などの対策を進めることが急務であると指摘された。

続いて、同じく編集出版課・北村讓栄課員が「広報誌の作り方」として、会報(教区報、教会報など)を作成するに際しての手順や要点を、サンプルを示しながら分かりやすく解説した。

研修の合間には、各教区の社友同士が情報交換する姿が見られ、全教区で順次開催される「天理時報普及推進大会」を受けて、それぞれの地域の実態に合わせた普及・活用推進の実践例などを述べ合っていた。



大学生の集い ワーク&トーク in 秋田



秋田教務支庁にて集合写真

8月29日から30日まで、秋田教務支庁を会場に開催されました。開講式では、駒谷砂和子先生(学生担当委員会委員、梅谷大教会婦人)が、「教祖ならどうなされるか」を考えながら行動することの大切さをお話下さいました。

レクチャーでは、小松田敦先生(天理教名川分教会長 秋田大学医学部准教授)が、主に血液に関する話題を中心に、今回のテーマでもある「かしも・かりもの」の教理を理解し易く、詳しくお話し下さいました。その中で「知ること」が重要であり、知つたならば行動し、それが結果に繋がる、と教えて下さいました。

夕づとめ後は、懇親会が催されました。

翌日は、「天



理教の若者への期待 献血の現状について」と題して、斎藤貴仁氏

(秋田赤十字 献血センター 献血推進係長)より、献血が人の命を支えていることを、様々なグラフを用いてご説明頂きました。特に、10代、20代の方に献血に関心を持って頂きたいと力説されました。

その後、献血車が秋田教務支庁に到着し、献血が行われました。未明からの大雨の中、約40名の方が主に400ccの全血献血を行いました。

全体では6名の大学生が参加し、山形教区からは、大学生1名の他、学担委員3名が参加しました。

報告者 高橋惣一教区学担委員長



■感想文■

今回のワーク&トークでは、学生の繋がりの早さ、そして深さを実感しました。私は、途中参加だったので緊張していましたが、お陰様ですぐに打ち解けられ、強い繋がりが出来たと思います。たった一度の行事で深く繋がれる、良き友になれるというのは、学生だから出来ることであり、それが強みなのだと思います。ここで出来た繋がりがまた別の繋がりを生み、お道の輪はどんどんと広がっていくのです。

私は、学生会はお道の次代のよふぼくを育てていく場として、非常に重要な活動であると考えています。この貴重な活動を続けてこれてよかったです。思いますし、学生会を支えてくれた友達や先生方にとっても感謝しています。今後、学生会という素敵な活動が、続いていくと思います。これからも



かったです。思いますし、学生会を支えてくれた友達や先生方にとっても感謝しています。今後、学生会という素敵な活動が、続いていくと思います。これからも

高校生の集い「まなびば」



山形教区学生担当委員会主催による高校生の集い「まなびば」が、8月17、18日の2日間、鶴岡分教会（松本真会長）を会場に開催された。

まなびばは、人格形成の上で大切な時期にある高校生達に、自らが生活する地域内において、同じ世代の仲間との繋がりを深めながら、お道の教えに触れる場を与えることをねらいとしている。

更には、おちばで開催される「学生生徒修養会 高校の部」に参加出来ない者に対しても、少しでも教えるに触れる機会を与えたいとの思いを込めて、毎年各教区で行われている。

本年は、「ご恩 火、水、風」をテーマに設け、親神様のご守護を身近に感じ、ご恩に感謝して日々を過ごすことの出来るよう、グループワーク、おつとめ練習、委員長の話などを行った。また、2日目は雨天のため、湯野浜海岸での海水浴の予定を変更し、月山高原のひまわり畑を散策した。

参加者は、高校生1名、担当者・その他6名。



第43回道の教職員の集い 教区総会



2018.07.08

7月8日、教務支庁において道の教職員の集い(遠藤榮一郎代表世話人)の第43回教区総会が開催され、管内各地より14名の教区役職者、会員らが参集した。

当日は、森井昭司教区長が挨拶に立ち、続いて、井筒梅夫・布教部長から頂戴した祝辞が披露された。その後、本部派遣講師・田中直行先生(同集い運営委員会副委員長・天理小学校教諭)よりご講話を頂いた。先生は、天理小学校で行われている信条教育についてご説明下さり、また日々の学校生活の中で子ども達の身の回りに起こる様々な出来事を、信仰的な視点で捉え対処することの大切さをお話し下された。引き続き議事に進み、前年度の事業報告、今年度の事業計画、役員人事が承認された。

午後からは、昼食をとりながら懇親会がもたれ、田中先生を囲み和やかに歓談した。

一方、8月7、8日の両日、おちばにおいて第61回「道の教職員 夏の集い」が開催され、山形教区からは遠藤代表世話人ら2名が参加。期間中は、本部長・深谷善太郎先生(学校法人天理大学理事長)より「信条教育の基本」と題してご講話頂いたのを始めとし、11の分科会や体験発表、グループトークなどが実施され、充実した2日間を過ごした。

教 報

任 命

上乃山分教会(中央支部・名古屋大)
 お許し 立教181年6月26日
 就任奉告祭 9月5日
 新任教会長 鈴木 篤
 東酒田分教会(酒田飽海支部・深川大)
 お許し 立教181年8月26日
 就任奉告祭 11月18日
 新任教会長 廣瀬 由美

教務支庁日誌

7月
 2日 主事会 教区例会 青年会例会 災救隊会議
 4日 婦人会例会
 5日 災救隊訓練準備
 6日 中央支部例会 同神名流し・路傍講演
 8日 道の教職員の集い第43回教区総会
 15日 中央支部ハートクリン
 16日 中央支部ようばく成人講座
 22日 少年会会議 少年ひのきしん隊事前研修会
 30日 中央支部ハートクリン
 少年ひのきしん隊出発
 8月
 6日 中央支部例会 婦人会例会
 さくらんぼの会会議 少年ひのきしん隊帰庁
 19日 女子青年例会
 31日 婦人会総会準備